

## オートクローザ

## 施工要領書

このたびは、三協アルミ商品をご採用いただきましてありがとうございます。

商品の施工には、この施工要領書をよくお読みになり、正しく美しく仕上げてください。

注意事項は、商品の性能・機能、強度および安全性を確保する上での重要な内容です。施工の際は必ずお守りください。

● **施工は専門業者様が行ってください。** 専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。

**注**▶ 同梱されている取り扱い説明書は、必ずお客様へお渡しください。

### 設置上の注意事項

門扉以外への転用や改造は行わないでください。

### 施工上の注意事項

指定してあるボルトやねじをすべて確実に締めてください。ねじは止める面に対し傾かないよう垂直に取り付けてください。

ねじ止め時には、**手まわしドライバー**を使用してください。

以下のドライバーは使用しないでください。ねじや部品・部材が破損するおそれがあります。

#### インパクトドライバー、電動ドライバー

指定の部品やオプション品以外は使用しないでください。

施工後、ボルトやねじ類にゆるみやガタつき、また使用上危険な箇所や汚れなどが点検してください。

開閉作動や施錠が正常に行えることを確認してください。

作業終了後の商品にキズ、ヘコミなどが点検してください。

取り扱い説明書に基づき、商品の使い方(オートクローザの操作方法など)や保守・点検方法およびメンテナンス方法を必ずお客様へ説明してください。

### 梱包内容

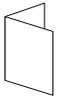
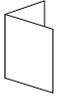
開梱時に種類と数量を確認してください(部品袋の内容も確認してください)。

商品に破損や異常がないか確認してください。

開梱後、商品にキズをつけないように保管してください。

万一商品に破損や異常がある場合、部品が不足している場合は、販売店様または三協立山株式会社 三協アルミ社までご連絡ください。

名称	形状	数量		
		ATC(S)-H35-R(L) ATC(S)-H40-R(L) ATC(S)-HP40-R(L)	ATC(S)-H50-R(L)	ATC(S)-HP50-R(L)
オートクローザ本体 扉厚35用:GC0753 扉厚40用:GC0754 扉厚50用:GC0755		1	1	1
ジョイント 内開き用:GB2885 外開き用:GB6937		1	1	1
オートクローザ用 六角棒スパナ 呼び2.5		1	1	1
止めねじ用 六角棒スパナ 呼び3		1	1	1
Wセムス 5×15×10 (クローザ取り付けねじ)		4	—	8

名称	形状	数量		
		ATC(S)-H35-R(L) ATC(S)-H40-R(L) ATC(S)-HP40-R(L)	ATC(S)-H50-R(L)	ATC(S)-HP50-R(L)
小ねじトラス 5×25×10 (クローザ取り付けねじ)		—	8	—
ばね座金 呼び5		—	8	—
平座金 呼び5		—	8	—
施工要領書 HZ2356		1	1	1
取り扱い説明書 HZ2357		1	1	1

● **オートクローザセットの他に専用丁番裏板セット(別途部品)が必要です。**

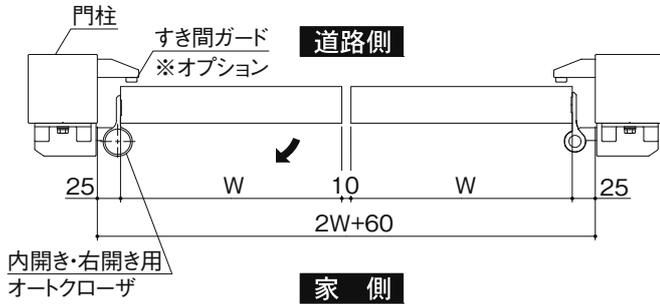
丁番裏板がないと取り付けることができません。

● 丁番裏板はご使用になる門扉により異なります。

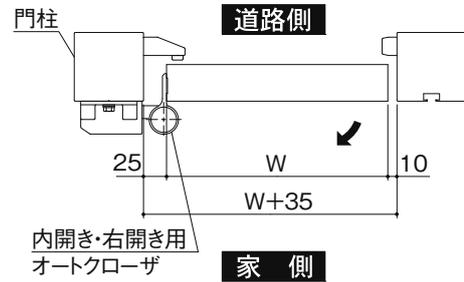
## 基準納まり図

● 門柱の角数によって、一部門柱の断面形状が異なります。

■ 内開き・両開き [DPN-□□-□□W] [DP-□□-□□W(K) (・ST)]  
 [DP-M(R)FL-(M)□□W]  
 [OKP-105(ST)-□□W]

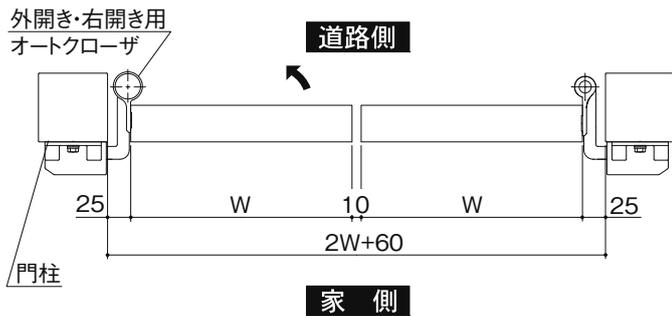


■ 内開き・片開き [DPN-□□-□□S] [DP-□□-□□S(K) (・ST)]  
 [DP-M(R)FL-(M)□□SR(L)]  
 [OSP-105(ST)-□□S-R(L)]

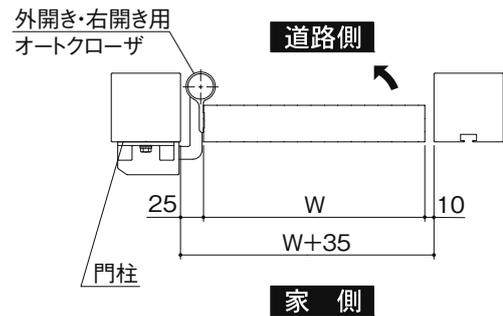


※ エルファード、フレジスタ、フレラインフォルテ、ジオグランテの場合、門柱側すき間ガードはありません。

■ 外開き・両開き [DPN-□□-□□W] [DP-□□-□□W(K) (・ST)]  
 [DP-M(R)FL-(M)□□W]  
 [OKP-105(ST)-□□W]



■ 外開き・片開き [DPN-□□-□□S] [DP-□□-□□S(K) (・ST)]  
 [DP-M(R)FL-(M)□□SR(L)]  
 [OSP-105(ST)-□□S-R(L)]



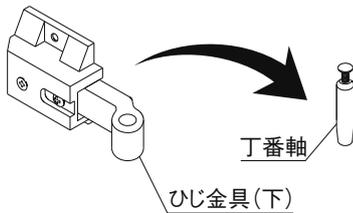
## 施工手順

- この説明書は、右勝手で説明しています。左勝手の場合は、左右逆に部品を取り付けてください。
- ひじ金具の左右つけ替えについては各門柱の施工要領書をご覧ください。
- 門柱の埋め込み寸法・施工手順などは、各門柱の施工要領書をご覧ください。
- オートクローザはラッチ錠仕様の門扉に取り付けできます。水平・垂直・W寸法を正確に守り、施工してください。

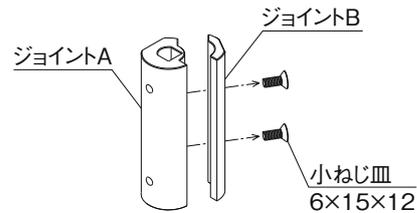
### 1 ジョイントの取り付け

#### 内開き

①ひじ金具(下)の丁番軸をはずしてください。

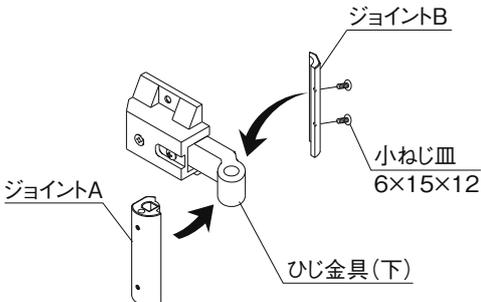


②ジョイントの小ねじ皿6×15×12をはずし、ジョイントA・Bに分解してください。



③ひじ金具(下)をジョイントA・Bではさみ込んでください。

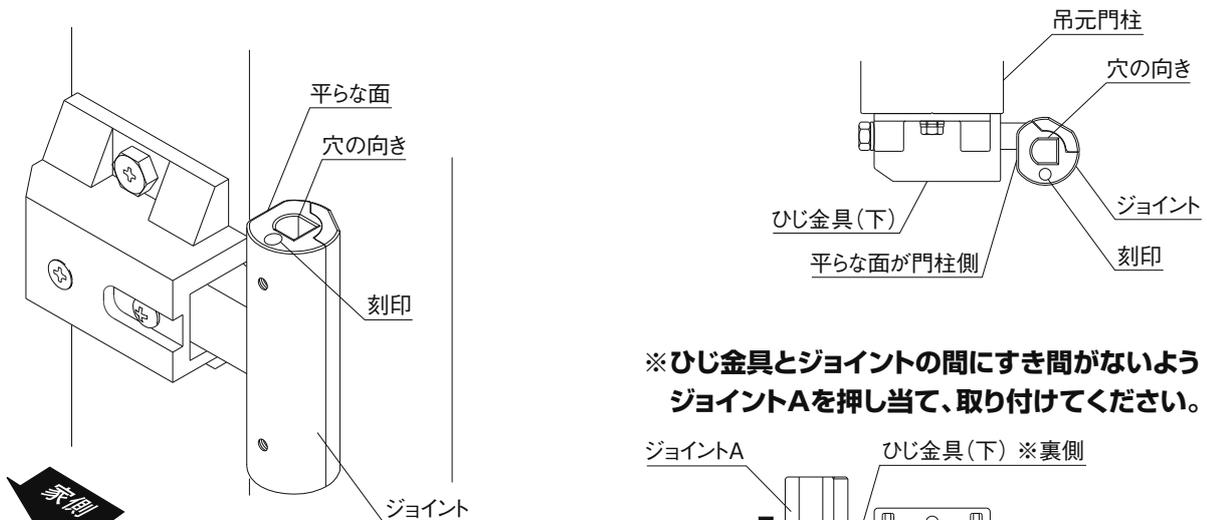
④小ねじ皿6×15×12でジョイントA・Bを取り付けてください。



#### ■ひじ金具(下)拡大図(吊元柱に取り付けた状態)

※ジョイントの向きに注意してください(平らな面と穴の向きに注意してください)。

※ジョイントの刻印位置は右勝手用は上側に、左勝手用は下側になります。

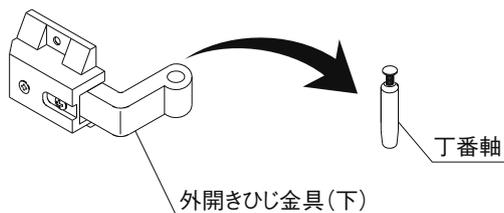


※ひじ金具とジョイントの間にすき間がないようジョイントAを押し当て、取り付けてください。

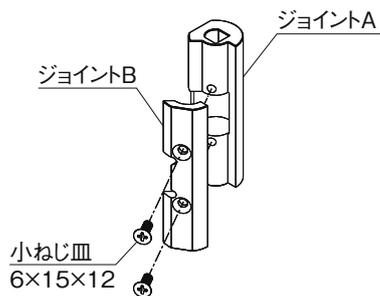
すき間がないように押し当て、取り付けてください。

## 外開き

①外開きひじ金具(下)の丁番軸をはずしてください。

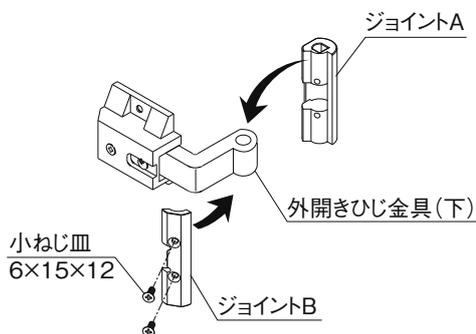


②ジョイントの小ねじ皿6×15×12をはずし、ジョイントA・Bに分解してください。



③外開きひじ金具(下)をジョイントA・Bではさみ込んでください。

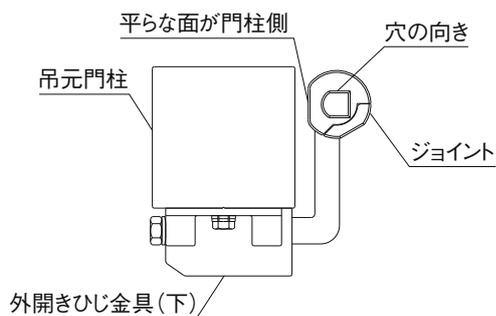
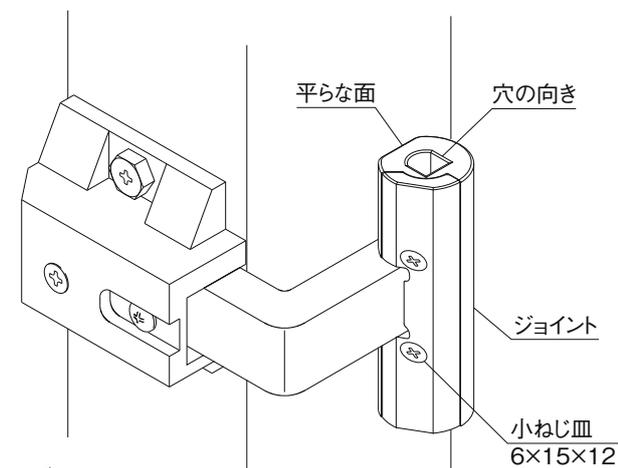
④小ねじ皿6×15×12でジョイントA・Bを取り付けてください。



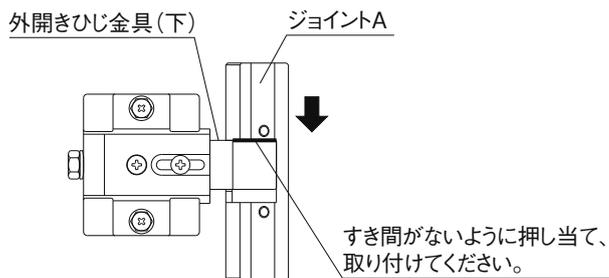
### ■外開きひじ金具(下)拡大図(吊元柱に取り付けた状態)

※ジョイントの向きに注意してください(平らな面と穴の向きに注意してください)。

※ジョイントの刻印位置は右勝手用は下側に、左勝手用は上側になります(内開き時とは逆になります)。



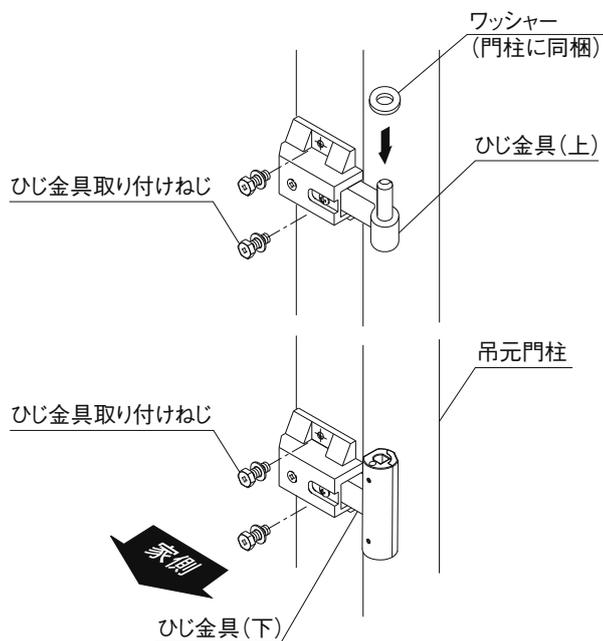
※外開きひじ金具とジョイントの間にすき間がないようジョイントAを押し当て、取り付けてください。



## 2 門柱部品の取り付け

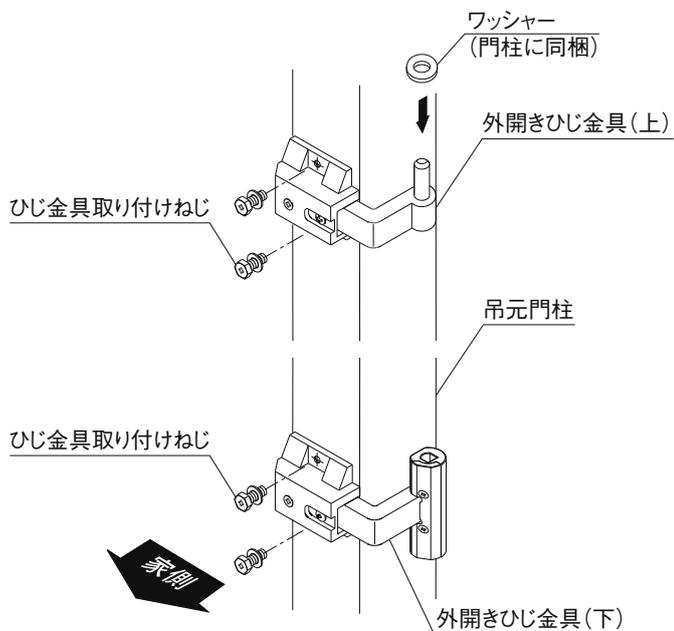
### 内開き

- ①吊元門柱にひじ金具を取り付けてください。
- ②ひじ金具(上)にワッシャーを取り付けてください。



### 外開き

- ①吊元門柱に外開きひじ金具を取り付けてください。
- ②外開きひじ金具(上)にワッシャーを取り付けてください。

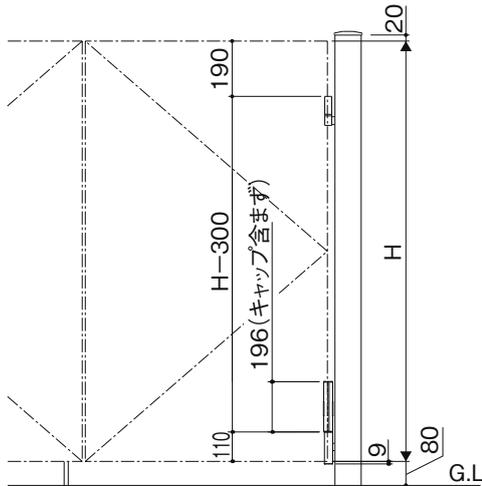


※外開きひじ金具の取り付けは、門柱の施工要領書をご覧ください。

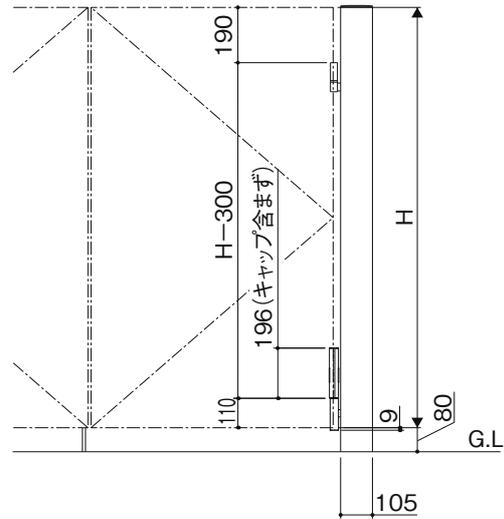
### 3 オートクローザの取り付け

#### オートクローザ納まり寸法

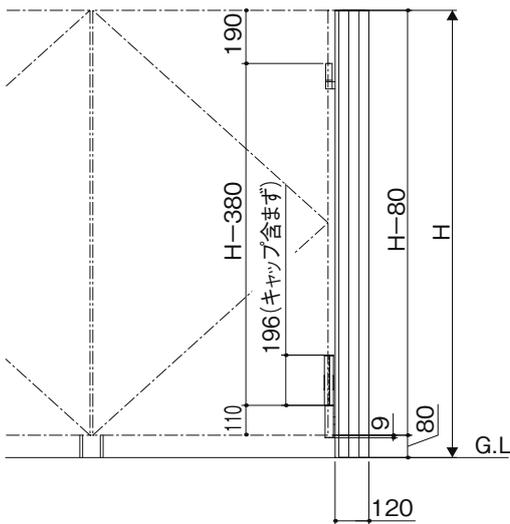
##### ■75・90角門柱の場合 (DP、DPN門柱)



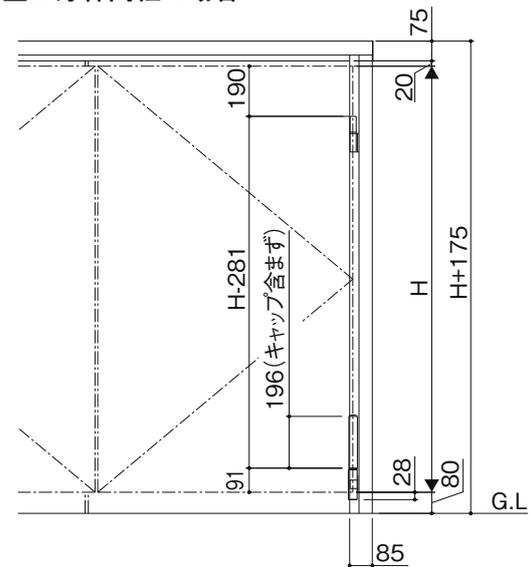
##### ■105角門柱の場合 (DP門柱)



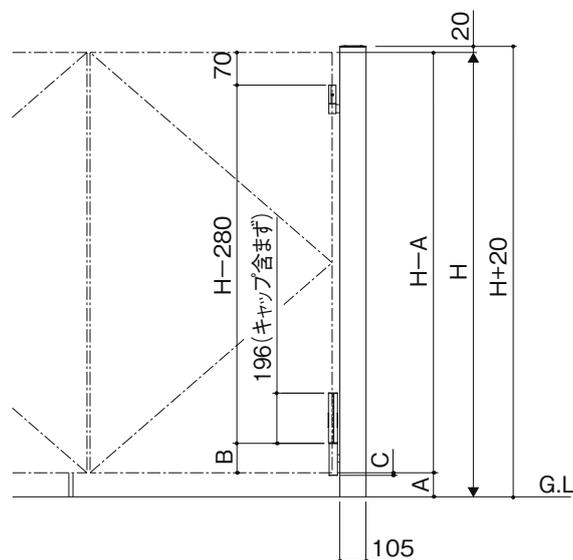
##### ■エルファード、フレジスタ門柱の場合



##### ■三方枠門柱の場合

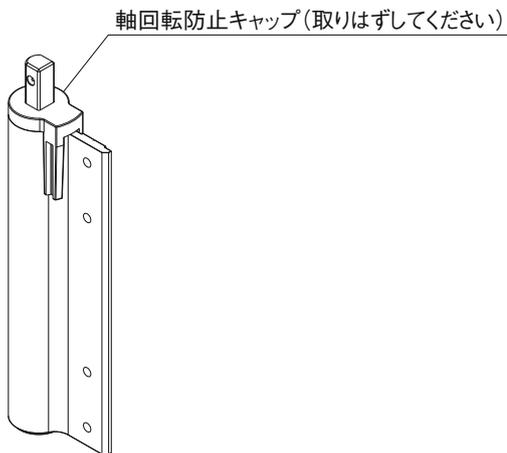


##### ■フレラインN、フレラインフォルテ、フレランドN門柱の場合



タイプ	A	B	C
フレランドN フレラインN、フレラインフォルテ 笠木タイプ 1,2型	100	110	9
フレラインN フレラインフォルテ 格子タイプ 1,3,5,7型	80	130	-11
フレラインN、フレラインフォルテ 格子タイプ 2型	70	140	-21

※オートクローザ軸部に取り付けている軸回転防止キャップを取りはずしてください(使用しません)。



注▶ オートクローザの取り付け前に、オートクローザの回転軸位置を確認してください。

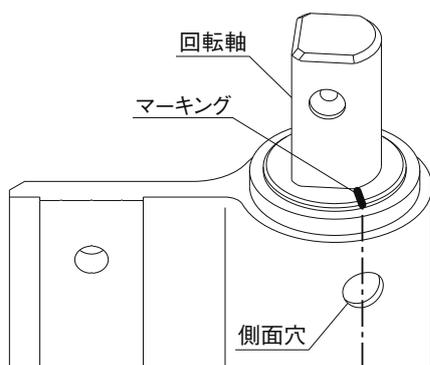
回転軸が正しい位置にないと、門扉の吊り込みができなくなる場合があります。

回転軸は工場出荷時には、下図のような正しい位置にあります。

まれに振動や衝撃などにより、回転軸が原点に戻っていることがありますので、取り付け時に戻っている場合には、下記の手順で回転軸位置を修正してください。

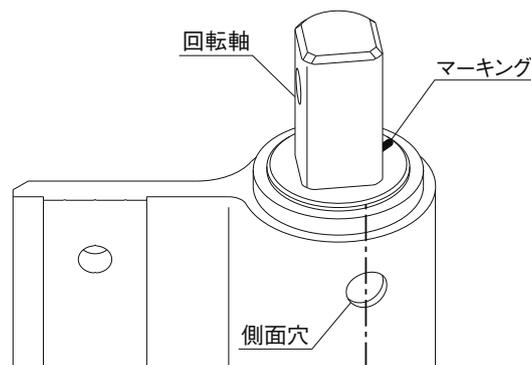
#### 【回転軸位置】

【○:正しい位置】



※マーキングと側面穴が合っている

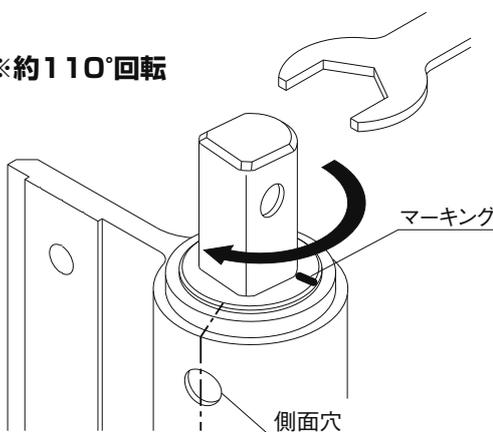
【×:原点戻り位置】



※マーキングと側面穴がずれている

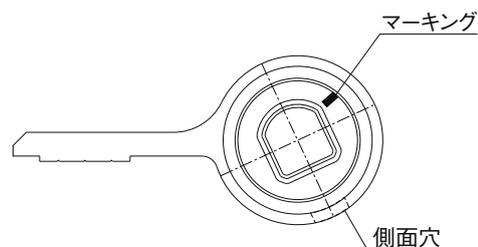
#### 【回転軸が原点に戻っている場合】

※約110°回転



スパナで側面穴位置まで回転させマーキング位置を合わせてください。

※トルクが掛かっていますので、重いですが、回転できます。



※オートクローザは必ず門扉からはずした状態で作業してください。

門扉に取り付けたまま作業すると、門扉がキズ付く場合があります。

※作業時には、回転方向を確認し、オートクローザ本体にキズが付かないよう注意してください。

※作業時には、オートクローザをしっかり固定して、ケガをしないよう注意してください。

※上図は内開き・右開き(外開き・左開き)の場合を示します。

内開き・左開き(外開き・右開き)の場合は、図が逆になります。

ラグロシア・Jモダン・モンブレム・フレラインN・フレラインフォルテ・フレランドN以外の形材門扉およびジオグランテの場合

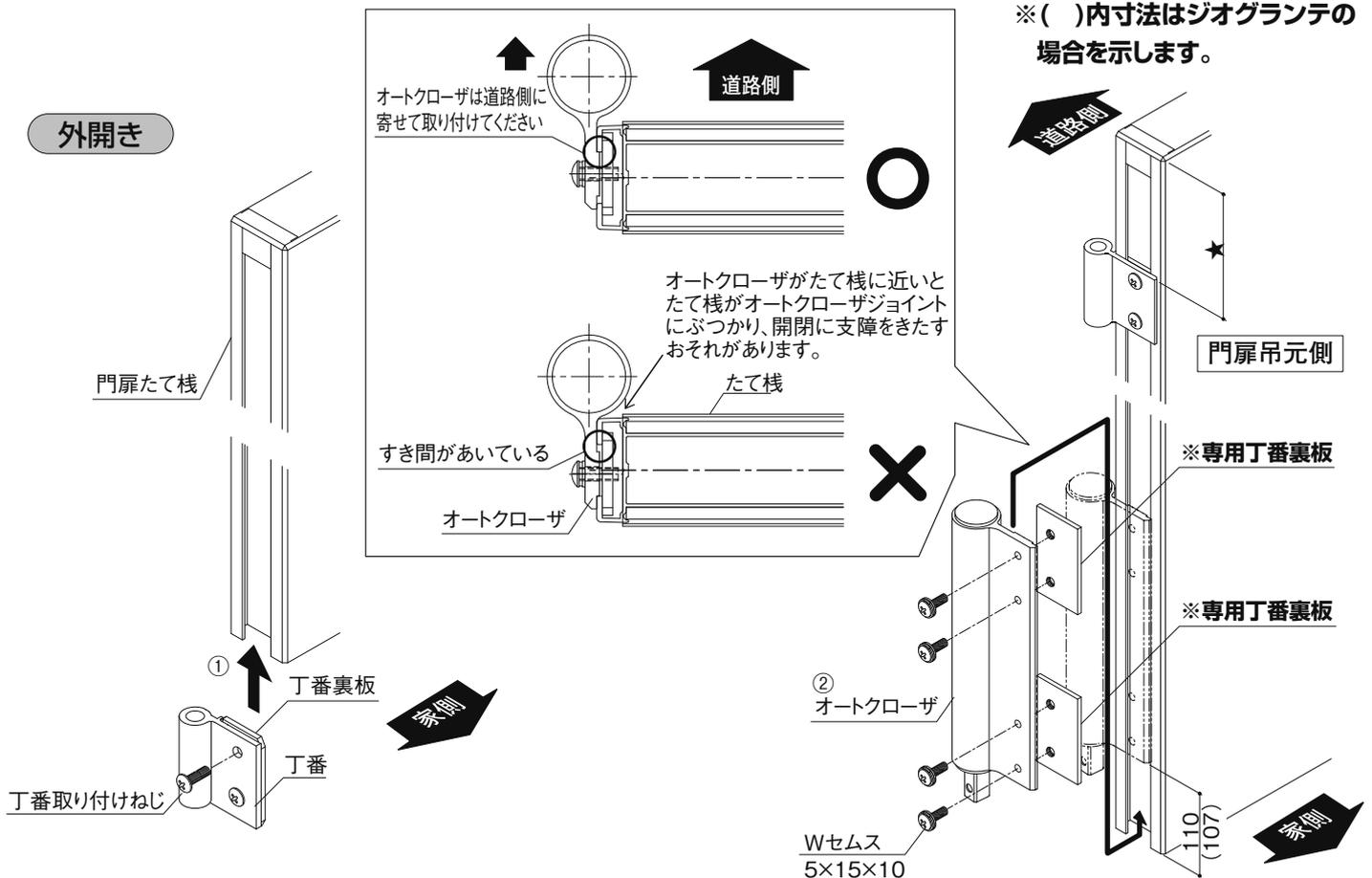
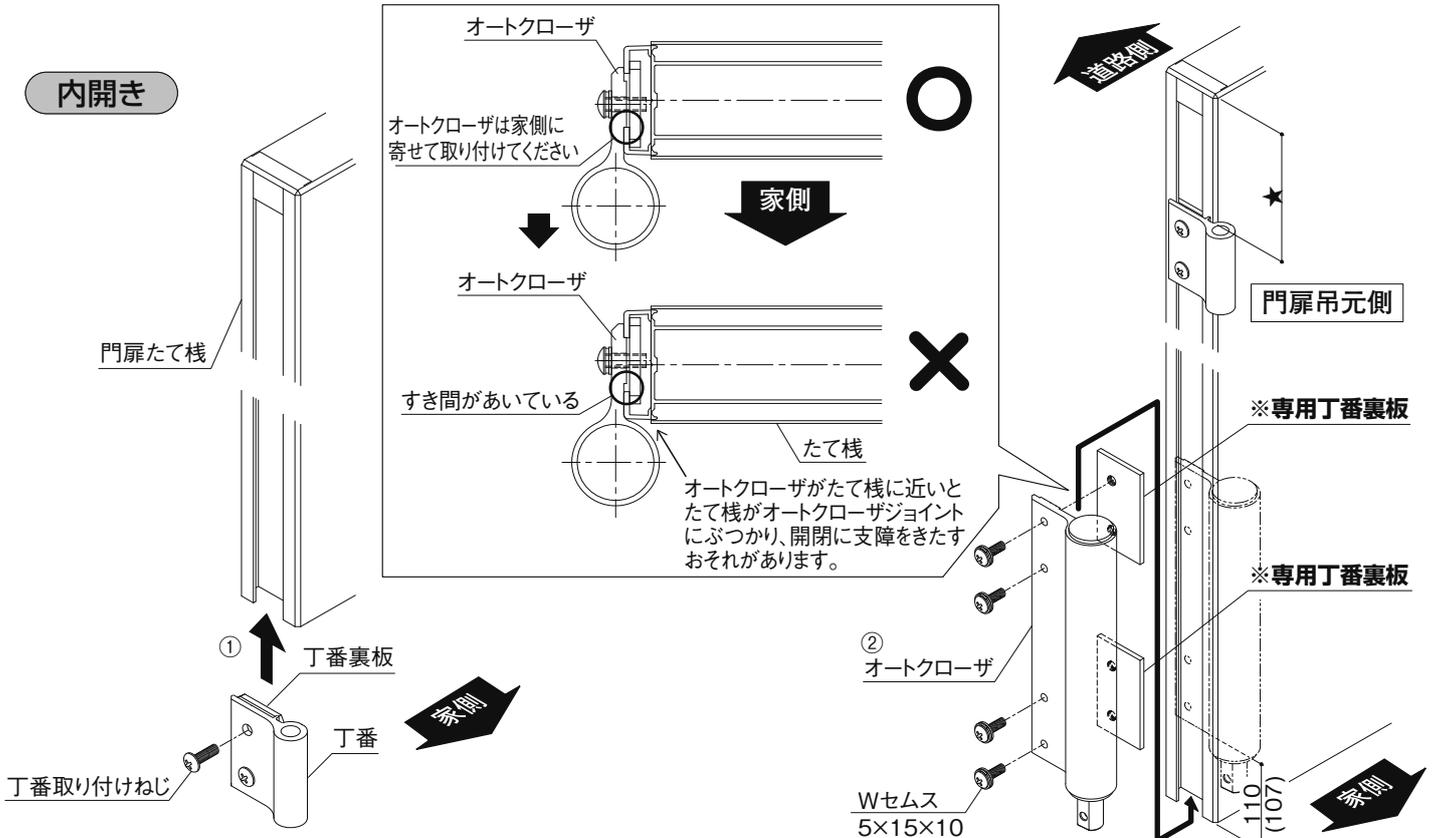
①門扉に同梱の丁番を取り付けてください。  
(上側1個のみ)

※丁番の取り付けは、各門扉本体に同梱の丁番、丁番裏板、  
丁番取り付け用ねじを使用してください。

※取り付け寸法 ★ は、各門扉の施工要領書をご覧ください。

②オートクローザと専用丁番裏板をWセムス5×15×10(4本)  
で仮止めしてから、門扉たて棧下部より挿入し、スライドさせて  
取り付けてください。

※専用丁番裏板は、別途専用丁番裏板セットをご使用ください。  
専用丁番裏板は、ご使用になる門扉により異なります。



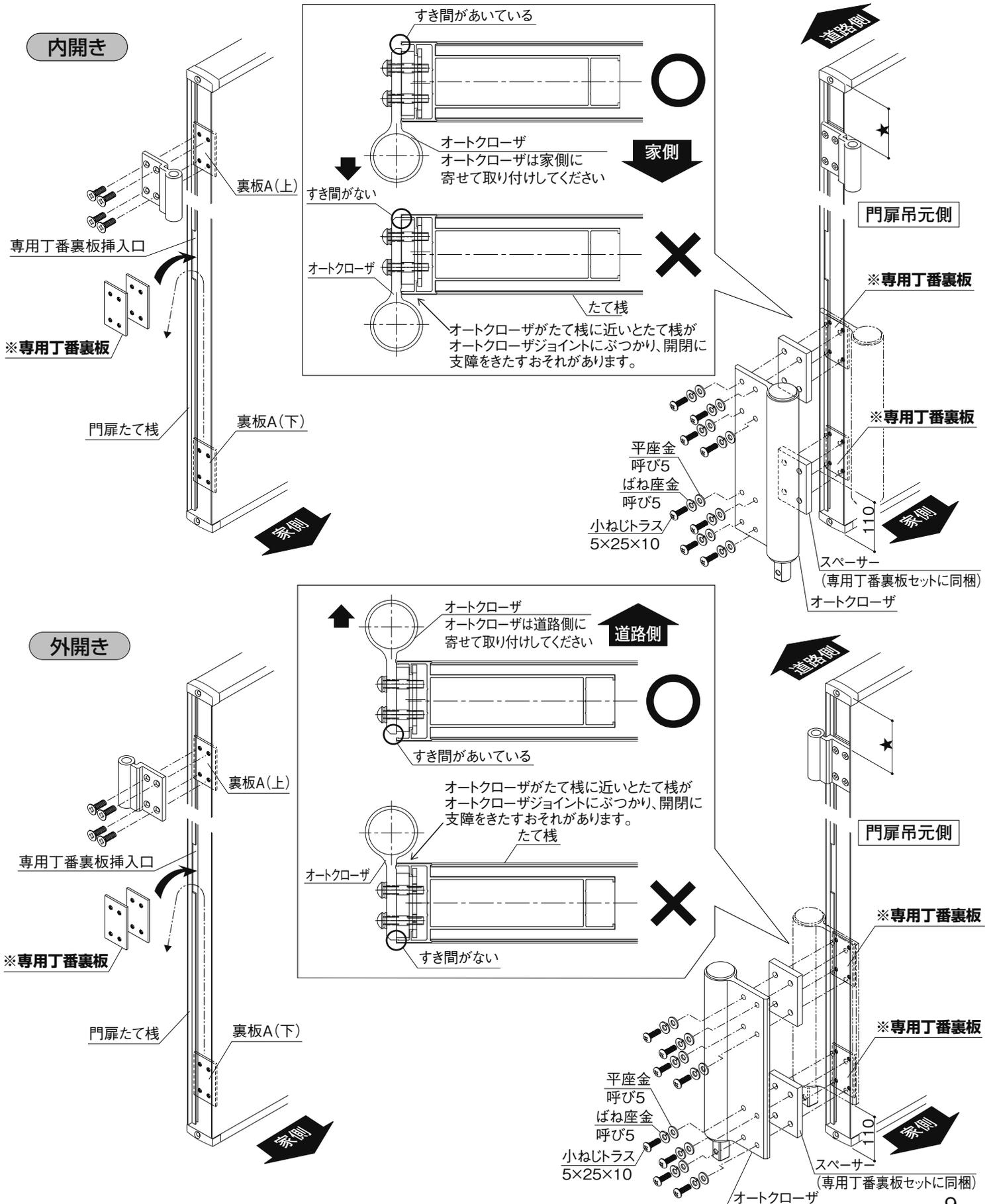
※( )内寸法はジオグランテの場合を示します。

※( )内寸法はジオグランテの場合を示します。

## ラグレシア・Jモダン・モンプレム門扉の場合

- ①門扉にあらかじめ取り付けられている裏板A(下)を専用丁番裏板挿入口より取りはずしてください。
  - ②門扉にあらかじめ取り付けられている裏板A(上)に、門扉に同梱の丁番を取り付けてください。
- ※取り付け寸法★は、各門扉の施工要領書をご覧ください。
- ③専用丁番裏板を挿入口より門扉たて棧に通してください。

- ④オートクローザとスペーサを小ねじトラス5×25×10(8本)、ばね座金(8個)、平座金(8個)で専用丁番裏板に取り付けてください。
- ※専用丁番裏板およびスペーサは、別途専用丁番裏板セットをご使用ください。専用丁番裏板はご使用になる門扉により異なります。



## フレラインN・フレラインフォルテ・フレランドNの場合

①門扉に同梱の丁番を取り付けてください。

(上側1個のみ)

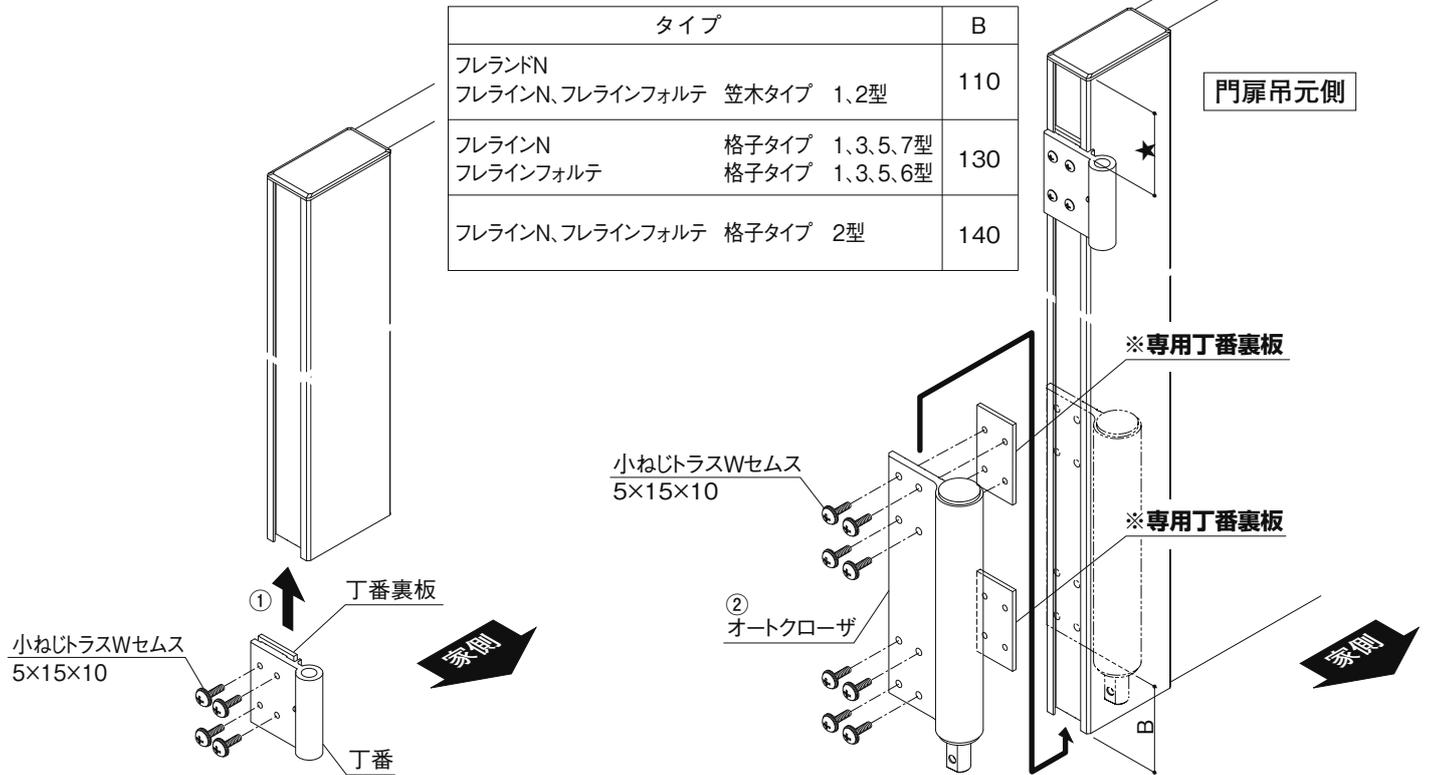
※**丁番の取り付けは、門扉本体に同梱の丁番、丁番裏板、丁番取り付け用ねじを使用してください。**

※**取り付け寸法 ★ は、各門扉の施工要領書をご覧ください。**

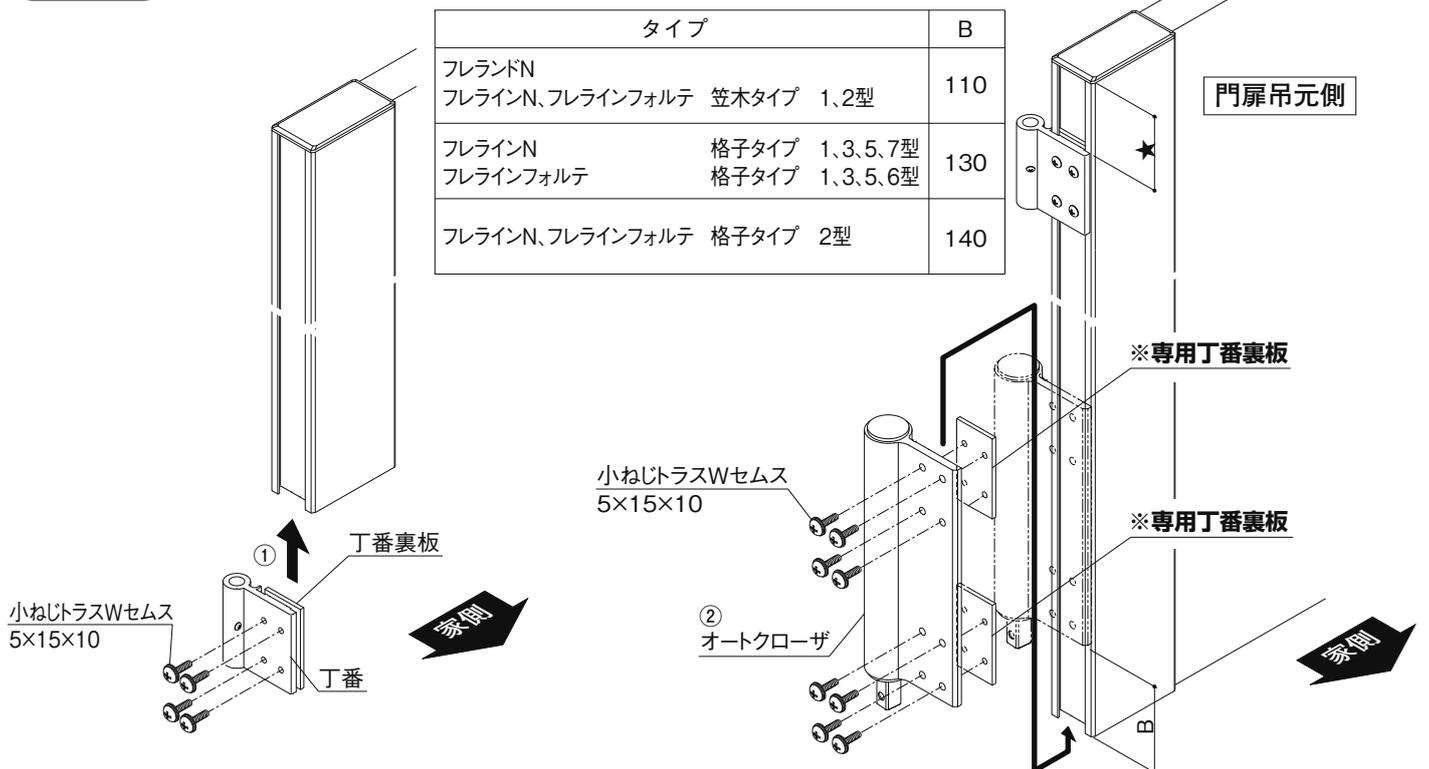
②オートクローザと専用丁番裏板をWセムス5×15×10(8本)で仮止めしてから、框下部より挿入し、スライドさせて取り付けてください。

※**専用丁番裏板は、別途丁番裏板セットをご使用ください。**

### 内開き



### 外開き

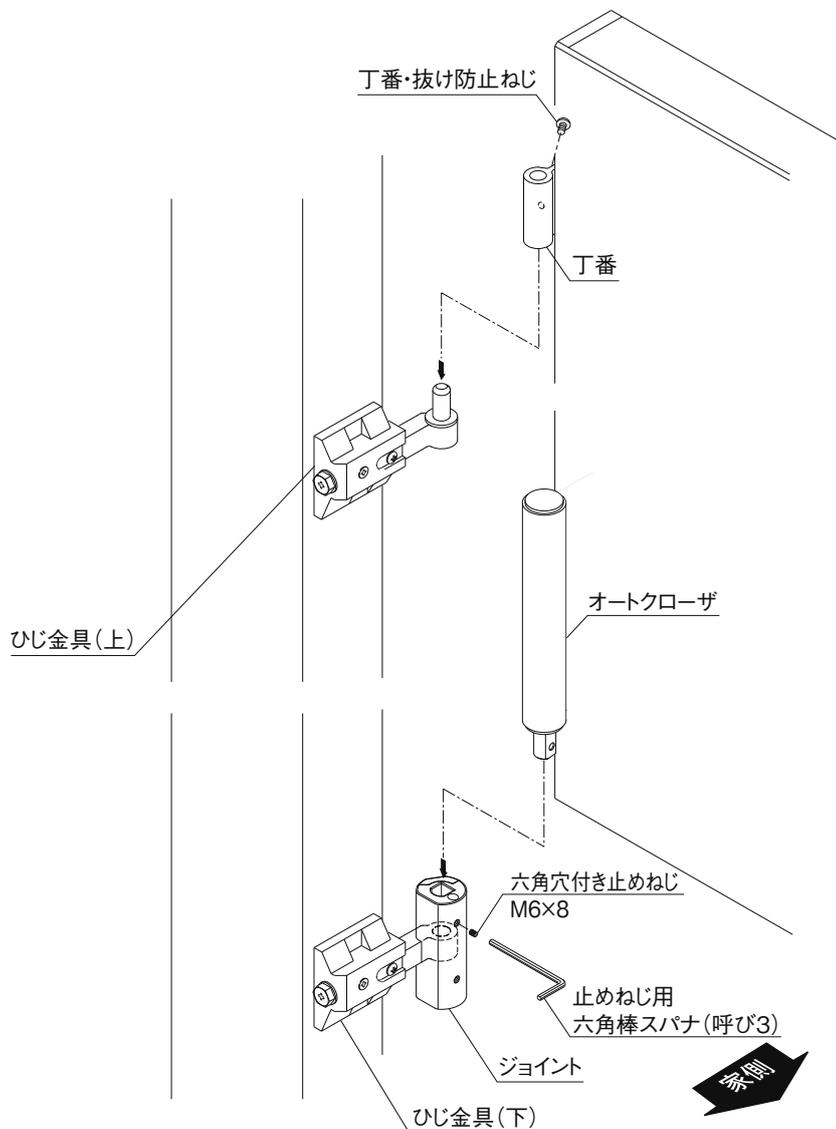
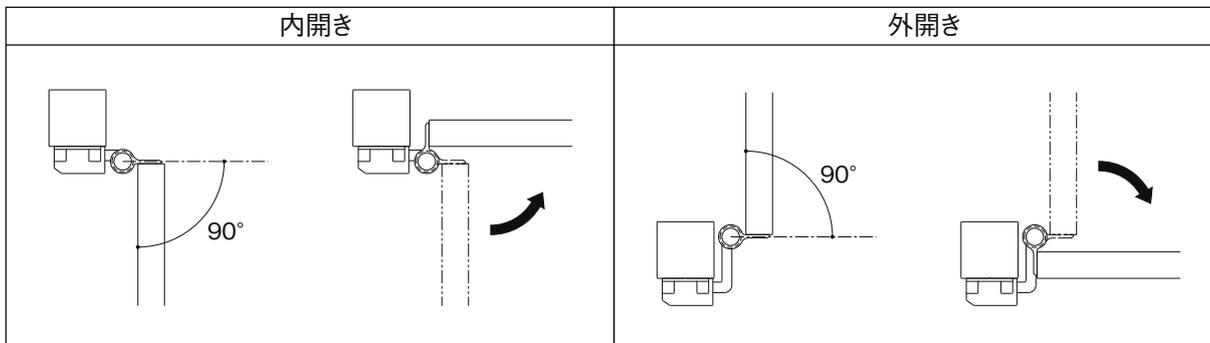


## 4 門扉の吊り込み

- ①門扉を90°開いた状態で丁番をひじ金具(上)、オートクローザをジョイントに納まるよう、門扉を吊り込んでください。
- ②丁番・抜け防止ねじの本締めをしてください。
- ③六角穴付き止めねじM6×8を止めねじ用六角棒スパナ(呼び3)で締め付けてください(下側のねじも飛び出しのないようにしてください)。

※オートクローザの力により重く閉まりにくくなっています。

**5 調整** により門扉がスムーズに閉まります。

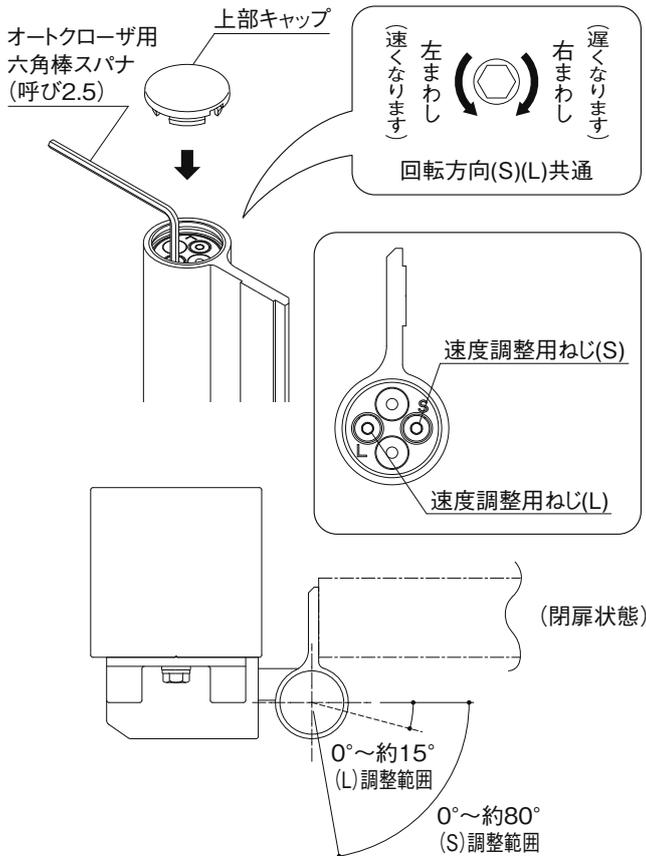


## 5 調整

**ひじ金具の調整** ● ひじ金具の調整は、各門扉の施工要領書をご覧ください。

**オートクローザの速度調整** ● 門扉の閉じ速度の調整を行うことができます。

※図は、内開き用の右勝手を示します。左勝手の場合は、左右反対です。



- ① オートクローザ本体の上部キャップを取りはずしてください。
- ② 速度調整用ねじ(S)をオートクローザ用六角棒スパナ(呼び2.5)で左へまわし、オートクローザ内部にオイルがまわるように、2～3回扉を開閉させてください。

※速度調整用ねじ(S)は、出荷時は一番遅くした状態です。

注 速度を最も遅くした状態で無理に開閉しないでください。故障の原因になります。

- ③ 速度調整用ねじ(S)をまわし、速度を調整してください。

※速度調整用ねじ(S)は、オートクローザ作動範囲の全域(0°～約80°)における速度を調整する機能です。

注 閉まる速度が速過ぎると危険ですので、5～8秒間で80°から0°まで閉じるように調整してください。

※速度調整用ねじ(L)は、門扉が完全に閉じる直前(0°～約15°)の速度を速くする機能です。出荷時は一番遅くした状態です。ラッチがかかりにくい場合等、必要に応じて調整してください。調整しないままでもご使用できます。

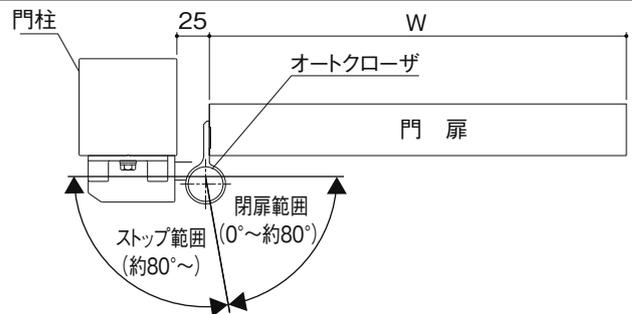
※部品の特性上、夏期に比べ冬期は速度が遅くなります。

- ④ 上部キャップを取り付けてください。

開閉速度は、お客様も「オートクローザ用六角棒スパナ(呼び2.5)」を使って調整可能です。開閉に十分注意していただく旨をご理解いただいた上で、「オートクローザ用六角棒スパナ(呼び2.5)」をお客様へお渡しください。

### 基準開閉範囲

- 門扉にオートクローザを取り付ける前後で納まりは共通です。
- 閉扉範囲・ストップ範囲とも標準値です。(丁番部の調整により範囲は若干異なります)



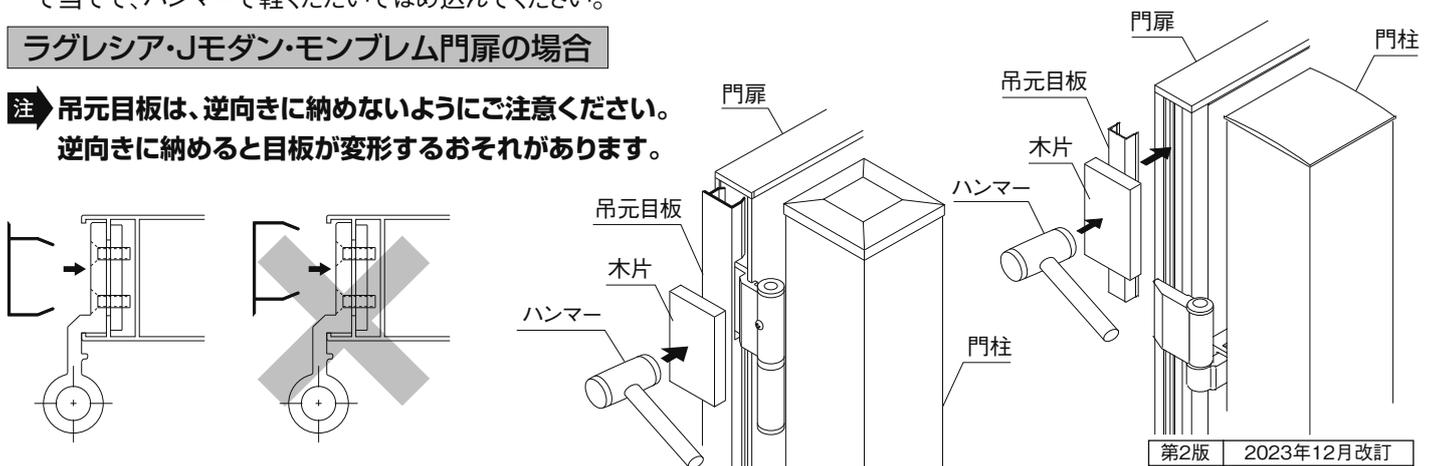
## 6 吊元目板の取り付け ※下記の門扉以外は取り付け不要です

- すべての調整が終わりましたら、吊元目板を現物に合わせて正確に切断し、門扉の吊元側たて桟にはめ込みます。木片などを当て板として当てて、ハンマーで軽くたたいてはめ込んでください。

リフレア(3型および4-B型)、ジオグランテ門扉の場合

### ラグレシア・Jモダン・モンブレム門扉の場合

注 吊元目板は、逆向きに納めないようにご注意ください。逆向きに納めると目板が変形するおそれがあります。



第2版 2023年12月改訂  
(第1版 2021年9月発行)